

2016年10月11日

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会加盟館 各位

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会運営委員長校
愛知大学図書館
館長 西野 基継
(公印省略)

2016年度私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
第2回研究会の開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2016年度第2回研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

また、当日研究会終了後に意見交換会を予定しておりますので、ご都合のつく方はぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

参加申し込みは下記参加申込方法で 10月28日(金)までにご回答ください。

敬具

記

- 日 時 2016年11月25日(金) 10:00~16:30 (受付 9:30~10:00)
- 会 場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階レセプションホール
(愛知県名古屋市東区矢田南 4-102-9)
地下鉄名城線ナゴヤドーム前矢田駅 2番出口から徒歩3分
アクセス <https://www.meijo-u.ac.jp/sp/90th/campus/nagoyadome/> をご覧ください。
- 対 象 加盟館に勤務する図書館職員(派遣・委託等を含む)
- 参加申込 以下の申し込みフォームから加盟館単位でお申込みください。
※欠席の場合もお手数ですが申込フォームからご連絡をお願いいたします。
申し込みフォーム
<https://jp.surveymonkey.com/r/YGF2CQR>

※意見交換会に参加される方は、会費4,000円を当日受付時に集めさせていただきます。
会場:学内カフェテリアレストラン「ムーガーデンテラス」
<http://www.eatrium.jp/>
- 申込締切 2016年10月28日(金)
- その他 ※昼食は各自持参いただくか、学生食堂・近隣の食堂等をご利用ください。
※意見交換会の参加取り消しは、会場都合上11月21日(月)までに以下の連絡先にご連絡ください。期日以降の取り消しは参加費を徴収させていただきますのでご了承ください。
- 連絡先 愛知大学図書館 担当: (浜里、小野)
E-mail: tokai-lib@ml.aichi-u.ac.jp
Tel.: 052-564-6115

2016 年度私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
第 2 回研究会スケジュール

2016 年度研究会テーマ：これからの図書館支援 ～学生を知り学生を育てる～

第 2 回研究会では本年度テーマ(別紙)の『学生の育成』としての支援」に焦点をあて、新たな入試制度と連携し図書館による入学前からの『学生の育成』を開始したお茶の水女子大学の事例を参考に各館の現状や課題を、講師を交えたグループワークで共有します。

講師：森 いづみ氏（お茶の水女子大学附属図書館）

- 9 : 30～10 : 00 受付
- 10 : 00～10 : 10 開会挨拶 会場校（名城大学附属図書館 山本 忠弘 館長）
- 10 : 10～10 : 40 ワークショップ
オリエンテーション
- 10 : 40～11 : 40 グループワーク①
- 11 : 40～13 : 00 休憩
- 13 : 00～14 : 00 事例紹介
『今、大学図書館に求められている役割とは？
お茶の水女子大学における教育改革と入試改革の実践から見てきたもの』
- 14 : 00～14 : 10 休憩
- 14 : 10～15 : 40 ワークショップ
グループワーク②
- 15 : 40～16 : 00 休憩
- 16 : 00～16 : 30 全体討議
- 16 : 30 閉会
- 16 : 30～17 : 00 施設見学（希望者自由見学）
見学施設：図書館、ラーニングコモンズ、グローバルプラザ
- 17 : 30～19 : 30 意見交換会

事前課題

参加者には、各大学の学習（修）支援の実施状況と今後の課題についての事前課題があります。課題は参加者宛後日メールにてご案内します。

2016 年度東海地区協議会研究会事業計画

研究会テーマ：「これからの図書館支援 ～学生を知り学生を育てる～」

中央教育審議会答申（平成 24 年 8 月）等により、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニングが推進されていることを背景として、そのためのスペースを設置する大学が増加しています。平成 27 年度「学術情報基盤実態調査（文部科学省）」によりますと、すでに全大学の 52.8%にアクティブ・ラーニング・スペースが設置されています。

これら『箱物』や『器』としてのアクティブ・ラーニング・スペースの整備が進む一方で学修支援の具体的な中身が問われています。

2016 年度の研究会事業では、図書館と大学を取り巻く環境を踏まえ、今後の図書館における学修支援について、『場』と『学生の育成』の観点から研究を進めていきます。

『場』としての支援

学生の学修スタイルの変容に対応するべく図書館では、ゾーニングやコーナー設置等の工夫をしています。実地調査による利用実態の結果から、利用者（受け手）が図書館に望むのはどのような『場』なのかを紐解き、図書館としてどのように支援をしていくのかを研究していきます。

『学生の育成』としての支援

2015 年度の本研究会でも参加機関の関心が高かった学生の主体的学修の支援方法について、学外、学部学科連携、他部署連携、ピアサポート支援等の実践あるいは初年次教育等における指導と図書館との関わりなど、今後学生の育成をしていくために必要と思われる多様な支援について研究していきます。

第 2 回研究会講師の紹介

森 いづみ氏：お茶の水女子大学附属図書館課長

平成 3 年度 東京大学採用。教養学部図書館で外国雑誌の受入、総合図書館で参調査や利用者教育を担当。

平成 11 年度 情報基盤センター学術情報リテラシー掛に配属。

平成 12 年度 三重大学に転任し、情報リテラシーや機関リポジトリを担当。

平成 19 年度 国立情報学研究所に転任し、機関リポジトリの推進等を担当。

平成 25 年度～ お茶の水女子大学に異動、現在に至る。

プライベートでは、20 年来ガーデニングを趣味としている。4 年前から登山にはまり、山ガールから山女の域へと足を踏み入れつつある。